



# 法の光 (法光山 妙勝寺 通信) No.240

2019年(平成31年) 12月 1日発行

文責 大岩 清人

— 妙勝寺本堂と枝垂れ桜 —



## 除夜の鐘と梵鐘

12月31日大晦日23:45より令和の除夜の鐘をつきに来て下さい。

今年の罪障・煩惱を打ち消し、新たな気持ちで新年を迎えて下さい。

本堂では新しい年が皆様にとって良き年でありますようにお経をあげ祈願しております。

どうぞ、本堂に自由にお入り頂きお参り下さい。鐘をついて頂いた皆さんには「お守り数珠玉」「小僧君干支ストラップ」お子さんには「チョコボール」をプレゼント。

左写真の鐘撞き堂・梵鐘は昭和55年(1980年)7月に再建されました。それまでは基礎石が残るのみでした。

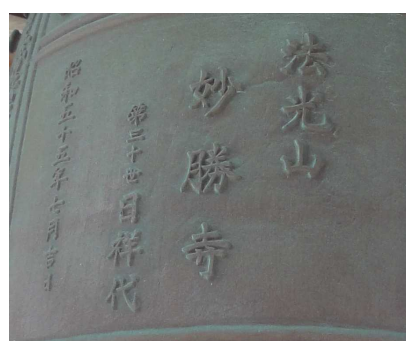
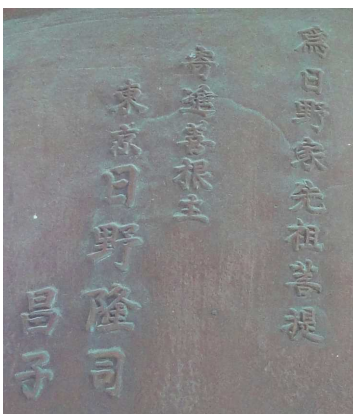
古くは享保年間(1722～1728年)第9代湛浄院日浩上人の時に鐘楼堂が建立されています。

第二次大戦で物資が不足する中、1944年梵鐘を戦争物資として供出し、その時に鐘楼堂も解体し、基礎石だけが名残を留めていました。

東京・日野隆司夫妻が鐘楼堂・梵鐘を先祖供養の為に寄進を申し出られたのです。

36年ぶりに総檜作りの鐘楼堂が完成し、賑やかにお稚児さんが練り、開堂供養(鐘のつき

初め)が行われたのです。



## 738回お会式

日蓮聖人への感謝のご法事を11月23日にお参り頂いた皆様とお勤めしました。

日蓮聖人は法華經の教えを広める為に、命を惜しまず時の鎌倉幕府に「法華經の教えを基に国造りをすると安穩な国が実現出来ます。」と進言されました。

この願いを幕府は受け入れませんでした、一般民衆に布教の為、辻説法をされたのです。

聖人は末法の時代にふさわしい教えが「法華經」であると確信されました。末法は自己中心的な時代と言い換えられます。また、縁を大切にしなくなる時代とも言えます。自己中心的な事件が相次いでいることからわかります。

午前の法要の後、婦人会のおもてなしのお弁当・八はい汁を食べた後、午後林田・宝塔寺新住職増井恵隆上人に「全てのことは原因があり、それが色々な関わり(縁)の中で結果をもたらします。これを因・縁・果と申します。一つの種でも土の上に落ちるか、コンクリートの上に落ちるかで結果は大きく異なります。大切なのはどんな関わり(縁)があるかです。」と「ご縁の大切さ」のお話をして頂きました。

妙勝寺を通じて日蓮聖人とご縁を結んでいます。このご縁をどの様に活かすか・自分の生き方に取り込めるかが私たちの勉めです。



いっさいしゆじょう いま  
「一切衆生、未だむさぼりの心を離れざる者には願わくばむさぼりの心を離れしめ、未だ瞋りの心を離れざる者には願わくば瞋りの心を離れしめ、未だ愚痴の心を離れざる者には願わくば愚痴の心を離れしめ、また願わくは、一切の人を見ること、佛の思いの如くし、父母の思いの如くし、悪事をば自己に向け好事をば他人に与える慈悲の心を増進し、布施・持戒・忍辱・精進・禅定の五行に精進し、菩提心を増長し、佛の智慧をえせしめ、自他の行願速やかに円成なさせしめ給え。

これは彼岸法要の回向の一節です。「強欲な人にはほどほどに、感情の激しい人には穏やかに、愚痴の多い人には控えめに・悪いことは自分が背負い、良いことは人に与え、五つの行をすることで智慧を得ますように・。」

色々な人が、それぞれの価値観で生きています。強欲・激怒・大愚痴はいやですね。でも、その本人は気付かないのです。特に苦境に立たされた時にこれらが表に出て、その人の品性(力量)が試されます。自分だけが辛い思いをしている・・そうではありません。皆さん同じような経験をされているのです。

#### 台風15号・19号被災者義捐金の報告

台風15号は千葉県を中心に多くの被害をもたらしました。千葉県はご存じの通り日蓮聖人誕生の地であり、出家された清澄寺も鴨川市にあります。

その為、日蓮宗寺院・檀信徒の多い地域なのです。15号の暴風で長い間  
停電となり、家屋の損害は大変な状況になっています。15号による日蓮宗寺院の被害は305ヶ寺にのぼりました。

この様な被害の中、一月後に台風19号が再び襲いました。北関東・長野・福島・宮城で大水害となりました。床上浸水など58ヶ寺が被害を受けたのです。両台風・その後の低気圧で檀信徒の被害状況は未だ集計出来ていません。

日蓮宗宗務院は被災地域以外の全寺院へ、日蓮宗関係者への義捐金を呼びかけています。10月27日の総代・世話人会に於いて相談しました。被害の規模を考えると多いに越したことはありませんが、この所の自然災害の多さに今後も支援要請があるだろうと、護持会として20万円・住職より10万円をさせて頂きました。ご理解よろしくお願い致します。



(市原市:円頓寺本堂屋根損傷)

## 千曲川大被害



友達の息子が信州の大学を卒業し、長野県の精密機械の会社に就職をし、長野の女性と結婚した。女性の実家で2世帯で生活していた。穏やかな生活は台風19号で一転した。床上浸水に見舞われ、避難所生活を余儀なくされ、ようやくアパートが借りられたという。

友達夫婦が取り急ぎ状況を知る為に長野へ走った。

「北陸新幹線の車庫が水没した近くなんです。とんでもない範囲が水没して復旧作業がほとんど進んでいない。息子の所は小さい子供がいるので、家を片付けようにも世話があるし進んでいない。今度また行って子供の面倒を見てやらないと片付けが・・・」ということだった。

水害という不運な出来事ではあるが、親が子供を手助けしてやれる機会でもある。家の復旧という同じ目的に力を合わせることで、絆が確認出来ることだろう。多大な経済的リスクはあるが、人間関係の必要性・ありがたさ・大切さを多くの人が改めて実感されているだろう。

## 共育

教え子と居酒屋で飲みました。彼は中学校や高等学校で卓球の指導をしています。杯を傾けながら「学校の先生は教え育む＝教育です。僕はコーチですから一緒に汗を流して共に育む＝共育です。自分の子供にも卓球やマラソンを共にして育みました。」と話してくれました。その長女が結婚したのです。「結婚式には泣くやろな～と思って臨んだけれど、以外にも冷静な自分がいたんです。でも弟や妹が涙するするのをみてダメでした。今になって振り返ると涙が出てきます。」と涙をぬぐっていた。

## カメムシ

カメムシの天敵は人間だけだと思っていました。猿もカメムシが好きだという。あの匂いが良いのかな～。カマキリがカメムシを前足で捕って食べているのを女房が見つけしばし観察。ユックリユックリ味わって食べ尽くしたそうです。

## 12月の日程

12月31日 23:45より 除夜の鐘 ・ 新年祝祷会(本堂)

※ 12月20日～1月10日の月参りはありません。 祥月命日はお参りします。

1月 4日 年始回り (山崎町近在) 雨天時は順延します。